

## 供述の任意性・信用性が争われた事件における裁判所の判断状況

### 供述の任意性・信用性が争われた事件における裁判所の判断状況

①平成22年6月から平成23年5月まで（※1）

第一審判決の日が属する年	供述の任意性が争われた事件（※2）			〔参考〕 起訴された事件数 （※4）
	事件数	供述の任意性が立証されていないことを理由に、供述調書の証拠調べ請求が却下された事件数	供述の任意性が争われた事件のうち、供述の信用性が否定された事件数（※3）	
平成22年6月から平成23年5月	218	9	9	498,966

※1 「取調べに関する国内調査結果報告書」記載の「任意性等の争いに関する実情調査」に基づいて作成した。

※2 平成22年6月1日から平成23年5月31日までの間に第一審判決があった事件のうち、捜査段階における被告人の供述の任意性が争いとなった事件をいう。

※3 捜査段階における被告人の供述の任意性が争われた事件のうち、信用性が否定されたものをいう。

※4 検察統計調査（月次）の「罪名別 被疑事件の処理人員」を基に記載している。

②平成26年10月以降

第一審判決の日が属する年	供述の任意性が争われた事件（※1）／取調べの違法・不当を理由として供述の信用性が争われた事件（※2）					〔参考〕 起訴された事件数 （※3）
	事件数	供述の任意性が争われた事件		取調べの違法・不当を理由として 供述の信用性が争われた事件		
		事件数	供述の任意性が立証されていない ことを理由に、供述調書の証拠調 べ請求が却下された事件数	事件数	取調べの違法・不当を理由として、供 述の信用性が否定された事件数	
平成26年（10月～12月）	33	25	1	21	1	108,538
平成27年	93	83	0	56	1	371,459
平成28年	62	56	6	37	1	352,669
平成29年	71	68	6	37	2	329,517
平成30年	51	48	3	23	0	308,721
令和元年	52	47	5	31	1	282,844
令和2年	44	40	3	22	5	253,444
令和3年	67	61	2	33	4	244,425
令和4年（1月～8月）	33	30	2	14	0	142,667

※1 「供述の任意性が争われた事件」とは、平成26年10月1日から令和4年8月31日までの間に第一審判決があった事件のうち、被告人の捜査段階における供述の任意性を争う旨の主張がなされた事件（検察官が証拠調べ請求を撤回し又は裁判所が証拠調べの必要性がないことを理由に証拠調べ請求を却下した事件を除く。）で、令和4年10月24日までに確定したものをいう。

※2 「取調べの違法・不当を理由として供述の信用性が争われた事件」とは、平成26年10月1日から令和4年8月31日までの間に第一審判決があった事件のうち、取調べの違法又は不当を理由として被告人の捜査段階における供述の信用性を争う旨の主張がなされた事件（検察官が証拠調べ請求を撤回し又は裁判所が証拠調べの必要性がないことを理由に証拠調べ請求を却下した事件を除く。）で、令和4年10月24日までに確定したものをいう。

※3 検察統計調査（月次）の「罪名別 被疑事件の処理人員」を基に記載している。